2026 年 11 月 9 日

各　位

ＪＸ金属株式会社
株式会社オキサイド

ＪＸ金属株式会社と株式会社オキサイドが資本業務提携契約を締結

ＪＸ金属株式会社（代表取締役社長：林 陽一、以下「ＪＸ金属」）と株式会社オキサイド（代表取締役 COO：山本 正幸、以下「オキサイド」）は、このたび資本業務提携契約（以下「本提携」）を締結しました。ＪＸ金属は、オキサイドが実施する第三者割当増資を引き受け、発行済株式数の 7.66％に相当する株式を取得する予定です。出資額は 27 億円、出資後の持株比率は 7.12％となる見込みです。

ＪＸ金属は、銅やレアメタルを原料とした先端材料の開発・製造・販売を主としてグローバルに事業を展開しています。なかでも結晶材料を次世代の事業の柱の一つと位置付けており、インジウムリン（以下「InP」）基板は、AI データセンターの増設やデータセンター内の光通信の範囲拡大に伴い、4 か年で最大 1,500 億円規模の生産能力増強を進めています。また、結晶材料事業のさらなる成長に向け、外部パートナーとの共創を通じた新たな材料・技術の開発と事業化にも取り組んでいます。

オキサイドは、光学単結晶およびレーザ関連技術をコア技術としてフォトニクス分野で事業を展開しており、世界トップクラスのシェアを有する結晶材料を複数展開しています。光アイソレータ材料であるビスマス置換希土類鉄ガーネット（Bi:RIG）などの光学材料を展開するとともに、薄膜ニオブ酸リチウム（TFLN）などの次世代光学材料や、量子通信・量子コンピューティングを含む量子関連分野への事業展開にも取り組んでいます。

本提携により、ＪＸ金属が InP 基板をはじめとする結晶材料事業で培ってきた材料開発・量産化技術、薄膜材料に関する技術およびグローバルな顧客基盤と、オキサイドが有する光学単結晶の成長技術、波長変換技術、光デバイスおよびレーザ技術を組み合わせ、両社の材料・技術ポートフォリオを相互に補完します。

具体的には、両社が有する結晶材料の量産技術や製造プロセスに関する知見を相互に活用し、生産技術・量産体制のさらなる高度化を図るとともに、JX 金属のグローバルな顧客基盤も活用し、事業展開の拡大を図ります。また、両社が有する結晶材料、光デバイスおよびレーザに関する技術・知見を生かし、光通信・光電融合、半導体、ヘルスケアなどの分野で中長期的な事業機会の創出に取り組みます。さらに、将来の情報通信基盤として期待される量子通信や、量子コンピューティングを含む量子関連分野において、新たな材料・製品および事業の創出を目指します。

今回の出資を通じて両社は連携を強化し、それぞれの強みを生かした技術開発と事業化を加速することで、結晶材料およびフォトニクス分野における事業ポートフォリオの拡充と持続的な成長を図ってまいります。

以　上

＜参考＞

1. ＪＸ金属概要

会社名	ＪＸ金属株式会社
代表者	代表取締役社長 林 陽一
所在地	東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 4 号
資本金	75,000 百万円
上場市場	東京証券取引所プライム市場
事業内容	薄膜材料事業、タンタル・ニオブ事業、機能材料事業、金属・リサイクル事業、資源事業
企業 HP	https://www.jx-nmm.com/

2．オキサイド概要

会社名	株式会社オキサイド
代表者	代表取締役 COO 山本 正幸
所在地	山梨県北杜市武川町牧原 1747 番地 1
資本金	3,413 百万円
上場市場	東京証券取引所グロース市場
事業内容	半導体検査装置用レーザおよび光学単結晶、医療用 PET 検査のシンチレータ単結晶、学術・産業用のレーザ光源や光部品の開発・製造・販売
企業 HP	https://www.opt-oxide.com/